

# スマートスクール通信 【第9号】

～ 一人一台タブレット端末の効果的な活用をめざして！ ～

令和5年（2023年）11月21日 豊中市立第十六中学校

## 『公開研究授業』

本校は、大阪府教育庁のスクール・エンパワーメント推進事業「スマートスクール実現モデル校」の研究指定を受けています。11月7日（火）の5限目に公開授業があり、大阪府下の小学校や中学校の先生や教育関係者が参観されました。その他、遠くは和歌山県の文部科学省リーディングDX研究指定校の中学校の先生も参観されました。



生徒のみんなにとっては普段通りの授業なのですが、授業でICTを活用した深い学びへの取り組みは、参観された方たちへのお土産としてお持ち帰りいただきました。十六中の取り組みが、それぞれの教育機関で広められていくことでしょう。



参観授業の後は研究協議会が行われました。そして最後に体育館に関係者全員が集まり、十六中の取り組み発表と和歌山大学教職大学院の豊田充崇教授の講演がありました。取り組み発表では生徒会執行部のみなさんが、PowerPointを使ってスマートスクールの取り組みを発表しました。豊田教授からは「授業で生徒が普通にiPadを活用できている姿が素晴らしい」と、十六中の取り組みを評価していただきました。

iPadが導入されて、もうすぐ3年。十六中ではiPadが学校生活の中に自然と溶け込んでいます。来るべきSociety 5.0<sup>\*</sup>の社会に向けて、十六中生のみんなにはよりよくICTを活用できる力を身に付けてほしいと思います。

参考サイト：[Society5.0とは（内閣府ホームページ）](#)

サイトQRコード→

